

『 追憶のアリラン 』

観劇の参考に資料をご用意いたしました。

観劇前にお読みになっても作品を楽しんでいただくのに問題はございません。

ただ、一部作品の内容と関わっている部分もございます。

全く前情報なしでご覧になりたいお客様にはお勧めできません。

ご了承ください。

◆ 参考文献 ◆

◆ 年表 ◆

◆ 語句説明 ◆

『追憶のアリラン』 参考文献(敬称略・順不同)

山辺健太郎	『日本統治下の朝鮮』
ヨーコ・カワシマ・ワトキンズ	『竹林はるか遠く―日本人少女ヨーコの戦争体験記』
高崎宗司	『植民地朝鮮の日本人』
坪井幸生	『ある朝鮮総督府警察官僚の回想』
清水徹	『忘却のための記録―1945―46恐怖の朝鮮半島』
趙景達	『植民地朝鮮と日本』
和田春樹	『北朝鮮現代史』
久木村久	『北朝鮮からの生還―ある10歳の少年の引き揚げ記録』
文京洙	『韓国現代史』
桜の花出版編集部	『朝鮮総督府官吏最後の証言』
藤原てい	『流れる星は生きている』

『追憶のアリラン』の作品構想及び執筆に以上の文献を参考としました。

各著作者、著作権保持者に深く感謝の意を表します。

『 追憶のアリラン 』

1868年（明治元年）

日本、明治維新。

明治政府は鎖国を続ける李氏朝鮮に開国を求めるようになる。

1873年（明治6年）

日本、征韓論(武力で朝鮮に開国を迫るという論)盛り上がる。

1875年（明治8年）

江華島事件。

日本、朝鮮に開国を迫る為にソウルに近い江華島に軍艦を派遣。

江華島砲台がこれを砲撃する。

1876年（明治9年）

前年の事件の後始末として、日本との開戦を望まない朝鮮が、

日朝修好条規(不平等条約)に調印。開国の道を歩む。

開国により、朝鮮が日本と清国の勢力争いの場となる。

1894年（明治27年）2月

東学党の乱(甲午農民戦争)。

開国政策により貧窮した農民が全国的に蜂起。

朝鮮政府は自力で鎮圧できず、清国軍と日本軍の介入を招く。

同 年 8月

日清戦争勃発。

乱後の撤兵をめぐり日清両国が対立。

朝鮮における優先権を巡って開戦。朝鮮は地上戦の主戦場となる。

1895年（明治28年）4月

日本、日清戦争勝利。

下関条約により朝鮮から清の影響力を排除。

同 年 10月

閔妃暗殺事件。

清に代わってロシアに接近し、日本を排除しようとした

韓国王妃閔妃(ミンビ)が三浦梧楼公使他の日本人に

王宮で殺害される。

1896年（明治29年）1月

義兵闘争。

朝鮮国民の日朝両政府に対する反感が高まり、

武力蜂起に及ぶ。

1897年（明治30年）10月

朝鮮、国号を大韓帝国と改める。

1904年（明治37年）2月

日露戦争勃発。

開戦と同時に日本は武力で朝鮮半島を制圧。

韓国内の駐留権と内政不干渉を認めさせる日韓議定書を

調印させる。植民地化の第一歩。

1904年（明治37年）8月

第一次日韓協約調印。

これにより韓国政府は日本政府の選んだ人物を

財政・外交の顧問に任命しなければならなくなった。

1905年（明治38年）9月

日露戦争終結。

日本が韓国に権益を持つことをロシアに認めさせる。

同 年 11月

第二次日韓協約調印。

韓国の外交権が奪われる。事実上の保護国化。

1907年（明治40年）7月

第三次日韓協約調印。

韓国の内政も日本に掌握される。また韓国軍が解散。警察権と

司法権も日本に委任された。これに反発した義兵闘争が高揚。

日本軍も武力で対抗し、併合までの三年間に約18000人を

殺害する(日本軍の死者は133人)。

1909年（明治42年）10月

伊藤博文暗殺事件。

初代韓国統監伊藤がハルビン駅で韓国人安重根に銃殺される。

これにより併合への流れが加速。

1910年（明治43年）8月

日韓併合条約調印。

韓国が日本に併合され、朝鮮と改称。

統治機関として朝鮮総督府が設置される。韓国の全政治団体が

解散、あらゆる集会が禁止、韓国語の新聞も全て廃刊。

1912年（大正元年）

土地調査令発布。

この土地調査事業によって多くの土地が日本人に奪われ、

朝鮮人の経済に深刻なダメージを与える。

1919年（大正8年）3月

三・一独立運動。

近代朝鮮史最大の反日運動。

ソウルから全国に広がる。日本は武力で弾圧。

逮捕、投獄、拷問、虐殺の徹底弾圧で5月には収束。

1923年（大正12年）9月

関東大震災。

デマに踊らされた大衆により多数の朝鮮人が虐殺される。

1924年（大正13年）5月

京城帝大開校。ソウルに帝国大学が設立。

関連年表

1931年（昭和6年）9月

柳条湖事件。満州事変勃発。

日本軍が満州を武力支配する。

この頃、満州で朝鮮人の抗日武装闘争始まる。

1937年（昭和12年）7月

盧溝橋事件。日中戦争勃発。

朝鮮は大陸兵站基地と位置付けられる。

戦争協力の為、「内鮮一体」のスローガンが唱えられる。

同年 10月

皇国臣民ノ誓詞発布。

朝鮮人に天皇への忠誠を誓わせる皇民化政策の始まり。

1938年（昭和13年）3月

朝鮮教育令改正。

朝鮮語での授業を実質的に禁止。

1939年（昭和14年）9月

朝鮮人労働者の集団募集開始。

1940年（昭和15年）6月

神社不参拝運動を起こしたキリスト教徒を一斉検挙。

約200の教会が潰され、2000人以上が逮捕された。

1941年（昭和16年）12月

太平洋戦争勃発。

戦時体制下で日本国内の様々な不足を補う為に、

朝鮮への締めつけが強まる。

1942年（昭和17年）5月

慰安婦を大々的に募集。

1944年（昭和19年）

朝鮮徴兵令施行。

志願制から徴兵制に移行。

1945年（昭和20年）8月9日

ソ連参戦。

日ソ中立条約を破り、ソ連軍が満州はじめとする日本領に侵攻。

日本軍は敗走。

取り残された民間の日本人は凄惨な状況に追い込まれる。

同年 8月14日

トルーマン米大統領、北緯38度線で朝鮮を分割することを

ソ連に提案。ソ連指導者スターリン、これに同意。

1945年（昭和20年）8月15日

日本降伏。

朝鮮半島の日本支配終了。

朝鮮各地で自治組織的な人民委員会が組織される。

日本支配の象徴であった各地の神社は焼かれ、

報復的なリンチ、略奪が始まる。

同年 9月6日

国内独立派により朝鮮人民共和国が宣言されるも、

進駐してきた米ソ双方が否定。朝鮮人独自の建国は認められず、

北はソ連、南はアメリカの指導の下に置かれる。

同年 10月

朝鮮共産党北朝鮮分局が設立。

責任書記に金日成就任。以降の38度以北の中心となる。

1945年～46年（昭和20年～21年）

南北の分断により、多くの日本人が朝鮮北部に取り残される。

35000人の日本人が冬を越せず死亡した。

生き延びた日本人も帰国までに多大な労苦を味わう。

1946年（昭和21年）2月

朝鮮北部の暫定統治機関として北朝鮮臨時人民委員会が成立。

ソ連の後押しを受けた金日成が委員長に就任。

金日成一派が他の派閥を抑え主流派となる。

1948年（昭和23年）8月

アメリカの指導の下、朝鮮南部が大韓民国(韓国)として独立。

同年 9月

朝鮮北部がソ連の指導で朝鮮民主主義人民共和国

(北朝鮮)として独立。

1950年（昭和25年）6月

朝鮮戦争(朝鮮動乱)勃発。

朝鮮半島の赤化統一を目指す北朝鮮人民軍が38度線を突破、
南進。

米軍を中心とした国連軍や中国人民義勇軍を巻き込んで
長期化する。

日本は戦争特需により経済の復興を成し遂げる。

1953年（昭和28年）7月

朝鮮戦争停戦協定調印。

この戦争の死者は400万人以上とする説もある。

用語解説

※作者流の解釈です

国名・地域名

朝鮮 大韓帝国が大日本帝国に併合され、朝鮮と呼称されるようになる。本作における『朝鮮』は日本統治時代の包括的な呼称であり、現在の韓国・朝鮮の呼び名の問題とは無関係である。

国名の変遷を記すと、朝鮮国(李氏朝鮮)→大韓帝国→朝鮮(日本統治時代)→大韓民国(南半分)・朝鮮民主主義人民共和国(北半分)となる。

平壤府(へいじょうふ) 現在の北朝鮮首都ピョンヤン直轄市。朝鮮北部の中心都市。宣教師から「東洋のエルサレム」と呼ばれ、朝鮮半島のキリスト教布教の中心だった。

京城府(けいじょうふ) 現在の韓国首都ソウル特別市。1394年から李氏朝鮮の都として栄えた歴史の古い都市。日本統治時代も引き続き中心都市とされ、朝鮮総督府など各種公官庁が置かれた。朝鮮唯一の官立大学、京城帝大も開校されていた。

釜山(ふざん) 現在の朝鮮南東部の港湾都市プサン広域市。日本に近い地理的な条件から朝鮮半島と日本とを結ぶ交通の要衝として栄えた。

組織(日本統治下)

朝鮮総督府 韓国併合後、日本により朝鮮支配の為に設置された官庁。立法権、行政権、司法権など絶大な権限を有し、日本の支配の中心的な役割を果たした。多くの朝鮮人職員を抱えていたものの、重要な役職はほとんど日本人で独占されていた。

地方法院 現在の日本の司法制度では地方裁判所に該当する。地方法院検事局は現代風に言うと地方裁判所検事局となる。

憲兵隊 本来は軍事警察として軍人による犯罪を取り締まる役割を果たす。朝鮮における憲兵は朝鮮人による反日・民族主義運動の取り締まりを主任務とした。不逞鮮人の取り締まりと称し、苛烈な弾圧を行った。

組織(朝鮮人)

人民委員会 1945年8月15日の日本降伏以降、解放された朝鮮半島各地で、自発的に誕生した自治組織。左右両派の共存するものが多かったが、米ソ両軍が38度線を挟んで進駐してくると、北では共産主義者、南では民族主義者が次第に中心となり、それ以外の者は排除されていった。

人民裁判 法律に依らず、結束した人民が自らの意志と力において行う裁判。本作においては、平壤人民委員会がソ連軍の指導の下に人民裁判を行い、日本人を裁いている。

抗日戦線 抗日パルチザン、抗日ゲリラとも。満州に拠点を置き、朝鮮独立を目指して武装闘争を戦った朝鮮人勢力。日本の厳しい弾圧により多くの者が命を落とした。後の北朝鮮指導者金日成(キム・イルソン)はこの勢力のリーダーの一人だった。

歴史的出来事

韓国併合 1910年、日韓併合条約により、大韓帝国は消滅し大日本帝国の一部となる。1945年までの35年間日本支配は続く。毀誉褒貶、未だこの時代の評価は定まっていない。近代化が進められた事実がある反面、多くの朝鮮人が経済的に貧窮したり、差別的に扱われたことも事実である。

土地調査事業 朝鮮総督府の行った事業。土地の所有者はそれを申告せよという、一見すると穏健なものだが、当時の農民には文盲が多く、申告のできなかった者の土地は容赦なく没収され、日本人に払い下げられた。

朝鮮動乱 朝鮮戦争の日本での呼称。1950年、北朝鮮軍が統一を目指し38度線を突破、南進。韓国軍と戦闘を開始する。1953年までアメリカを中心とした国連軍、中国軍も参戦し、激しい戦闘が行われた。両国の支配地域が南北を移動するに伴い、南北両軍による民間人の虐殺も数多く行われた。最終的な民間人の犠牲者は100万とも200万とも言われている。

その他

アリラン 朝鮮人に最も好まれている朝鮮民謡の一つ。アリラン峠という架空の峠を越える人の心を歌ったもの。

内鮮一体 日本と朝鮮が一体となって戦争を戦おうというスローガン。

大東亜共栄圏構想 太平洋戦争を正当化する日本の理論。アジアから欧米を追い出し、アジア全体で栄えようというもの。

朝鮮におけるキリスト教 朝鮮では日本と比べてもキリスト教が強い勢力を持っていた。特に平壤周辺はキリスト教徒、特にプロテスタントが多く、反日・民族主義運動の中心となっていた。

朝鮮人の姓 儒教倫理により子は父親の姓を一生名乗り続ける。つまり夫婦別姓。例えば夫婦と子供という家族構成であれば母親だけが別姓になる。

朝鮮系ソ連人 正確には高麗人と呼ばれる。様々な理由で朝鮮の地を捨て、ソ連(その前身の帝政ロシア時代も)の極東地域に移住した朝鮮人。一説には二十万人近くがソ連に定住していた。スターリンに日本のスパイの可能性を疑われ、1930年代に極東から中央アジアに強制移住させられた。この中のエリートが選ばれて、後に北朝鮮に派遣され、ソ連派と呼ばれる派閥になる。

大粛清 ソ連指導者スターリンが主に1930年代に行った政治弾圧。その犠牲者は80万人以上とも推計される。党员、軍人、文化人、そして一般市民とあらゆる人々が粛清の対象とされ処刑された。あまりに処刑し過ぎて、ソ連の社会が停滞したり、軍が弱体化するという弊害さえ生まれた。